

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和6年(2024年)4月17日
横断的な課題	人口減少下にあってもデジタル技術や地域の強みを生かした地域づくりの推進					
地域重点政策	「人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も躍進する長野地域をつくる」					長野地域振興局
実施機関	長野農業農村支援センター			担当課	所属	農業農村振興課
事業名	ながの果物語り 地消地産推進事業				電話	026-234-9592
					E-mail	nagano-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	長野県果樹試験場において、「シナノリップ」や「クイーンルージュ®」などの新品種が開発されており、それらを含む県オリジナル品種等の市場への供給量は安定してきたが、地元のホテル・旅館等における利用が広がっていないため、地域内のホテル・旅館等に対して、果物の県オリジナル品種等をPRするとともに、生産者からの流通ルートを確認する。 長野地域産果物の認知度向上及び活用促進を図り、善光寺などの観光資源の多い長野地域の強みを生かした地消地産を推進する。				
	現状と課題	(現状) 長野地域は、果物の栽培面積・生産量とも県内トップであり、果物の県オリジナル品種等も積極的に栽培されているが、過去に地域の宿泊業者や飲食業者へ地域産果物取扱いについてアンケートを実施したところ流通ルートの確保や価格面での課題があげられた。 また、県オリジナル品種についてはクイーンルージュ®などの新品種が登場しているため、その認知度向上及び利用の拡大も課題となっている。 (課題) 地域のホテル・旅館等への県オリジナル品種等の長野地域産果物の認知度の向上、利用拡大、及び流通ルートの確立。				
	内容 (変更後の内容)	1 ホテル・旅館等を対象としたぶどうクイーンルージュ®試食会の開催 (生産者等から品種紹介、クイーンルージュ®の試食及び新宿高野によるクイーンルージュ®を使用したスイーツの紹介) 2 長野市内のホテルの朝食における長野地域産りんごのPRおよび提供				
事業期間	令和5年6月			～	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考	
	地消地産推進のため試食会の開催	試食会の開催(1回)		397,500	需用費(試食用果物購入等 100,960円) 委託料(試食会準備及び旅費含む 当日の講演料158,840円) 使用料(会場借用料 137,700円)	
	長野市内ホテルへの朝食りんごの提供	りんごの提供		92,250	需用費(りんご購入費 92,250円)	
合計				489,750		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	新規での地域内流通ルートを確立したホテル・旅館等の件数	2件	1件	○ 達成
	長野地域産りんごを朝食で提供したホテル数	8件	8件	● 一部達成
				○ 未達成
事業実績・成果	<p>1 ホテル・旅館等を対象としたぶどうクイーンルージュ®試食会の開催</p> <p>(1)日時 令和5年9月20日14時から16時まで</p> <p>(2)場所 シャトレゼホテル長野（長野市七瀬1-1）</p> <p>(3)内容・成果等 地域内のホテル・菓子店等を対象として長野県果樹試験場で開発された新品種であるぶどう「クイーンルージュ®」の利用促進を図るため、その青果及びスイーツの試食会を行った。 ア 長野県農政部園芸畜産課担当者から品種紹介 イ 青果の試食 ウ 新宿高野からクイーンルージュ®を使用したスイーツの紹介・試食、フルーツカッティングレクチャー エ クイーンルージュ®の取扱状況に係るアンケート（試食会時、試食会后：R5～新規取扱開始 1事業者） 当該試食会は25事業者(42名)が参加し、長野地域産果物の認知度向上、利用拡大に寄与したと考えられる。</p> <p>2 長野市内のホテルの朝食における長野地域産りんごのPRおよび提供</p> <p>(1)実施期間 令和6年1月4日朝食から2月29日朝食まで</p> <p>(2)場所 長野市内8ホテル （ホテルJALシティ長野、ホテルメトロポリタン長野、チサンランド長野、相鉄フレッサイン長野駅善光寺口、長野東急REIホテル、東横INN長野駅東口、アパホテル長野、スマイルホテル長野）</p> <p>(3)内容・成果等 長野地域産りんごの認知度向上及び利用促進のため、長野市内ホテルにおいて、宿泊者向け朝食に長野市産りんごを提供し、併せてりんごPRパンフ、ポスター、のぼり旗を設置した。 りんごは期間中で総計800kg消費され、長野地域産果物の認知度向上、利用拡大に寄与したと考えられる。</p>			
今後の方向性	来年度も引き続き長野地域産果物の認知度向上と消費拡大を図るため、地元メディア等と連携し地域産果物の情報発信を行う予定。			